

環境教育・環境学習の推進

～市民のライフスタイルの改革に向けた取組の推進～

【目標：環境教育・環境学習の場や機会の充実、人材育成等の基盤整備】

◆◆◆◆ 川崎市環境基本計画・学習基本方針の改訂 ◆◆◆◆

本市では、1995年11月に環境教育・学習を計画的かつ効果的に推進していくためのガイドラインとして、「川崎市環境教育・学習基本方針」を策定しました。他方、基本方針の策定後10年が経過する中で、地球温暖化やヒートアイランド現象等環境問題が顕在化し、環境教育を取り巻く社会状況も大きく変化しました。

そこで、本市では、社会状況や国の動向、市民意見等を踏まえ、2006年3月に「川崎市環境教育・学習基本方針」を改訂しました。主な改訂内容は、以下のとおりです。

地球温暖化対策、エネルギー問題、ごみ問題などに関する環境教育、幼児環境教育、総合的な学習の時間の活用、高校・大学との連携など、環境教育・学習内容の充実を図ります。

基本方針の進行管理を図るため、実施計画を毎年策定し公表するとともに、事業の点検・評価を行います。



◆◆◆◆ 枳形中学校が環境大臣表彰を受賞 ◆◆◆◆

川崎市立枳形中学校（多摩区）は、地球温暖化対策に関し顕著な功績があったとして、2005年度に地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞しました。賞は5部門あるうちの「環境教育・普及啓発部門」で、全国からの44件の申請のうち6件が受賞したものです。

枳形中学校では、総合的な学習の中に省エネ・環境教育を位置づけて学習を展開しています。地球環境問題に視点を置いた講演会、校外学習、企業・団体からの講師の招へい、体験的な学習を取り入れたワークショップ等の活動計画を作成し実施しています。また、生徒、教職員、企業・団体、保護者、市民の5つの立場から、取組が継続展開するように学習活動を推進しています。



◆◆◆◆ 地球に美味しい「エコ・クッキング®」 ◆◆◆◆



地球温暖化や水・大気汚染など、昨今取り上げられている地球環境問題の解決のためには、国レベルの取組はもとより個人レベル(生活)での取組が大変重要となっています。

そこで、本市では、市民ボランティア(調理サポーター)と事業者、行政の三者連携により、『地球に美味しい「エコ・クッキング®」』事業を、PTA関係者を対象に2006年度から実施します。この事業では、各個人が「食」を通じ、「身近な題材で、体験的に環境の大切さを楽しく考える」というコンセプトのもと、買い物から料理、片付けにいたるまでの一連の流れを通して、環境に配慮した食生活の大切さを学ぶ講座を開催します。

これに先立ち、2006年3月に、PTA関係者を対象に講座を実施し、10名の調理サポーターの任命式を行いました。